

被災された方に安心と希望を感じてもらえる町に

被災者支援プロジェクト「おいでよ葉山」

「葉山町において、できることをしよう」職員から声があがったのは、県外から被災地に支援に入ることもまだ難しかった三月末。葉山町社会福祉協議会（以下、「町社協」）は、東日本大震災の被災者支援プロジェクト「おいでよ葉山」を立ち上げました。

このプロジェクトは、支援物資の提供や、避難のためのホームステイ先や空き家の提供など呼びかけ、町全体で被災者を応援しようというものです。町社協が受託する地域包括支援センターが事務局となり、ホームページやブログを通じて協力を呼びかけています。

避難所に調理器具をお届け
町社協では、震災で甚大な被害を受けた、岩手県釜石市の災害ボランティアセンターに職員を派遣しています。初めて職員が派遣された四月中旬、被災地では、避難所の食料物資が充足されてきた一方、調理するための器具（包丁、まな板、鍋、食器等）が不足して

いました。

「炊き出しだけでなく、避難所の人たちが食事を作れるよう調理器具を送れないだろうか」職員が被災地で見聞きしてきた報告をもとに、調理器具を集めることにしました。

ただ、被災地の状況は日々刻々と変わります。事務局の中野徹さんによれば、「被災地への到着が一週間違うだけで、物資が不要になってしまふことがあるため、（物資の）募集期間は短くなる」とのこと。それでも町内・町外からはたくさんの方の厚意が寄せられたそうです。集まった調理器具は、ボランティアスタッフの手で仕分けられ、種類ごとのリストを作成して送り、釜石市内の避難所に住む希



寄せられた調理器具

◆「おいでよ葉山」事務局
三浦郡葉山町堀内2220葉山町福祉文化会館内
(福)葉山町社会福祉協議会 地域包括支援センター内
TEL 080-2347-2078(専用電話)
URL <http://hayamahs.jimdo.com/>

望者へ届けられました。

離れていても活動を続けたい

また、岩手県遠野市にある遠野被災地支援ボランティアネットワーク「遠野まごころネット」が実施する「手紙文庫」にも協力。これは、被災地との心の交流のために、本や絵本に手紙を添えて送る取り組みで、これまでに二十九冊の寄付が集まりました。

「一人ひとりの力がまともな大きな力になる。これからもできることを続けていきたい。（被災地の方たちに）葉山町に安心と希望を感じてもらえれば」と中野さん。今後はボランティアバスの運行や、夏休みには、被災した子どもたちに町に遊びに来てもらうことも考えているそうです。

葉山町においてよー。その声から、被災地に温かく寄り添う町の姿が見えてくるようです。

(市町村社協支援)

福祉ボランティア活動支援担当

※表紙取材した「共和地区福祉バス」の取り組みなど、地域福祉活動を紹介した「はじめてのちいきふくし活動ノート」を、本会ホームページ (<http://ksyky.jp>) で掲載しています。

「福祉タイムズ」への「意見・感想」をお待ちしています！
kksyky@ksyky.jpまでお寄せください。

発行日 2011年平成23年6月15日 毎月1回15日発行 発行所 〒221-0844 横浜市中区神奈川区沢渡4番地の2
社協福祉人 神奈川県社会福祉協議会 TEL 045-311-1423 FAX 045-312-6302 編集発行人 鈴木和夫

印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所

防火管理者の皆様へ

消防用設備等点検時には**無償**で点検推進指導員を派遣し防火管理者の立会を支援いたします。

東日本大震災(その2)

(執筆) 神奈川県温泉地学研究所 杉原英和次長

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い未曾有の津波災害が発生しました。日本近海で発生する津波の怖さは「早い、高い、強い」ものでした。写真は宮城県南三陸町の防災対策庁舎の惨状です。3階建て10m以上ある庁舎を津波は呑み込み、外壁はその威力によって流され、直前まで防災放送で避難を呼びかけていた職員などを犠牲にしました。

海へ潮干狩り、海水浴、レジャーに訪れた際には、ラジオなどを携行し、いざと言うときにはより頑丈で高いところに迷わず避難してください。



宮城県南三陸町の防災対策庁舎の惨状

消防用設備の 安心を保障します



(財)神奈川消防設備安全協会
☎ 045-201-1908